

令和3年度事務事業評価表

事務事業名	しあわせサービス			担当課	福祉サービス	事業種別	自主
				担当係	福祉サービス		
開始年度	平成元年度	計画体系	2 区民同士のたすけあい活動を広げます⇒(1)地域支えあい活動の充実				
根拠法令等	しあわせサービス制度要綱						
事業区分	事業	社会福祉	拠点	在宅福祉事業	サービス	有償在宅福祉サービス事業	
事務事業目的	利用会員として登録した高齢者や障害者、妊産婦等に対し、地域住民の参加と協力による有償の家事援助や簡単な介助を行い、助けあい活動の輪を広げ、安心して暮らせるまちづくりを進める。						
実施内容	<p>【事業概要】 家事援助や簡単な介助を行う協力会員を派遣する住民参加型有償家事援助サービス</p> <p>【利用会員】 ① 区民からの利用希望の申込みにより、職員が訪問調査を行い、登録の手続きを行う。 ② 職員が登録者の希望内容に沿った協力会員を探し、紹介する。 ③ 援助開始以降は、内容の変更やその他の相談等に対して職員が連絡・調整・対応を行う。</p> <p>【協力会員】 ① 協力希望者を募集し、説明会を開催。登録の手続きを行う。 ② 協力会員向けの研修会、講演会等を開催。 ③ 初回の顔合わせ時は職員が同行し、援助する内容を三者で確認する。 ④ 援助開始以降は、内容の変更やその他の相談等に、職員が連絡・調整・対応を行う。</p> <p>【その他】 ① 年会費：利用会員、協力会員ともに600円(年度単位) ② 活動謝礼及び利用料金：1時間以内700円(1時間超は30分単位で350円を加算) ③ 協力会員の交通費：活動1回あたり100円</p>						

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	H31	R2
活動	利用件数・活動年数	依頼件数	件	目標	12,000	12,000	7,200
				実績	5,944	5,718	3,914
活動	利用時間・活動時間	依頼時間数	時間	目標	19,000	19,000	10,560
				実績	9,063	8,603	5,748
活動	利用会員(利用世帯)	年度末登録人数	世帯	目標	360	360	360
				実績	266	270	271
活動	協力会員	年度末登録人数	人	目標	360	360	200
				実績	179	163	148
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

備考	
----	--

コスト内訳(千円)			H30	H31	R2
収入	特定財源	利用料収入	6,344	7,560	4,024
		その他事業収入	270	300	233
	一般財源 (a)	18,531	16,204	17,174	
支出	事業費 (b)	8,845	8,530	5,897	
	職員人件費 (c)	16,300	15,534	15,534	
	業務量(人)	2.00	2.00	2.00	
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	0	0	0	
	退職給与引当	0	0	0	
		0	0	0	
	(控)コスト対象外	0	0	0	
トータルコスト (f=b+c+d+e)	25,145	24,064	21,431		

単位当たりコスト(円)	H30	H31	R2
単位の定義	活動件数		
実績数値 (g)	5,944	5,718	3,914
単位あたり社協単コスト (a/g)	3,118	2,834	4,388
単位あたりコスト (f/g)	4,230	4,208	5,475

実施状況に対する評価	<p>○ 利用会員、協力会員ともに減少傾向にあるが、コロナの影響がさらに拍車をかけている。協力会員は多くはないが一定して新規登録がある。ただし、退会する協力会員も多いため、トータルでは横ばいから減少の状態である。</p> <p>○ コロナの影響でサービスを中止した時期もあり、利用実績は大幅に減少している。また、協力会員向けの研修会や交流会が、コロナの影響で開催できない状況が続いている。</p> <p>○ 近年、利用希望者の依頼内容が複雑であったり、複数の課題がある世帯など、対応が難しいケースが増えている。また、二世帯住宅の依頼等、家族関係の薄さを象徴する依頼も多い。</p> <p>○ 地域の支えあい活動でもある本事業は、公的サービスの対象とならない方々の貴重なサービスとなっており、協力会員にとっては、この活動を通して本人の生きがいや介護予防にもつながっており、一定の効果をあげている。</p>
今後の方向性【改善】	<p>○ 会員増に向けて SNSの積極的な活用や小地域福祉活動などを活用して、地域の中から会員募集をかけるなど、積極的にPRしていく。また、引き続き説明会に限らず、窓口や自宅などでの登録も可とし、確実に新規会員を増やしていく。登録方法の煩雑さ、面倒さをできるだけなくせるよう、負担のかからない新たな登録方法などを検討していく。</p> <p>○ 登録した協力会員のモチベーションが高いうち(登録後間もないうち)に、活動へとつなげていく。</p> <p>○ 短時間や簡易的な依頼については、生活支援ボランティア事業との統合も視野に入れながら、サービスの仕組みを検討する。</p>